

# ぱーとなー

2005年11月  
第48号

## 耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

### ○ 安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

### ○ 無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

### ○ 患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

### ○ 地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

## 緩和ケアシンポジウムを開催いたします

きたる10月27日（木曜日）、西文化会館（ウエスティ）にて当院主催の第3回緩和ケアシンポジウムが開催されます。堺・泉北地域のホスピスケアを考える目的で行っております同シンポジウムも今回で3回目をむかえ、形式にはこだわらず楽しく親しみやすい企画をと考えました。そこで今回、第1部を大阪女学院ホール会・ハンドベルリンガーズによるハンドベル演奏会、第2部を六甲病院より安保先生をお招きしての医療講演会（テーマ：これからのホスピス・緩和ケア～きちんとした医療と人情あふれる看護～）としました。

近年では日本人の約半数が何らかの癌に罹患するものと言われており、医学の進歩にもかかわらずいまだ全死亡者の3分の1を癌患者が占めています。そんな中、根治を見込めず終末期をむかえた癌患者様とそこそご家族を対象とし、しかし決して「死を待つ」場としてではなく最後まで自分らしく大切に「生きる」お手伝いをするのが緩和ケアの存在意義だと感じています。現在、誰にとっても緩和ケアは他人事ではなくなっているのではないのでしょうか。そして、よりよい緩和ケアの実現は医療従事者だけの努力によるものではなく、多くの方々のご理解とご協力なしには成し得ないことです。安保博文先生は現在、六甲病院緩和ケア科医長をなさっており、今回のご講演は緩和ケアに対する理解の深浅を問わず医療従事者からひろく一般市民を対象とし、緩和ケアに対する理解をよりいっそう深めてくれるものと期待しております。

参加費無料・当日自由参加でひろく参加を募っておりますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、当院緩和ケア病棟も本年度で開設3年目をむかえました。ボランティアをはじめ多くの方々のご理解、ご協力のもとようやく地域に根ざしてきた感があります。当院緩和ケア病棟は先にも申し上げましたとおり、「死を待つ」場ではなく最後まで自分らしく



大切に「生きる」お手伝いをするを理念とし、充実した日常生活が過ごせるように環境や体制を整備しています。病棟は個室を中心に明るく広く家庭的な雰囲気、そして医師・看護師・理学療法士・心理療法士・ソーシャルワーカー・栄養士・薬剤師がチームとなってケアにあたり、生活のお手伝いとしてボランティアを配する体制をとっております。開設3年目を節目として初心にかえり、これからも当院緩和ケア病棟にいっそうのご理解、ご協力をいただけるよう努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 第3回緩和ケアシンポジウム

開催日時 10/27 18:00～20:00（開場 17:30）

会場 西文化会館（ウエスティ）

### <講演演題>

きちんとした医療と人情あふれる看護

### <講演者>

安保博文（あべ ひろふみ）

国家公務員共済組合連合会 六甲病院  
緩和ケア科医長

<参加費> 無料



耳原総合病院地域医療室  
電話 072-241-0324  
Fax ①072-241-0208  
Fax ②072-241-0670  
受付時間 月・水・金 午前9:00～午後7:00  
火・木 午前9:00～午後5:00  
土 午前9:00～午後1:00

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせ予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆

☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆